

授 業 科目名	【 G 】	刑法（総論）Ⅱ	区 分		開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	刑法（総論）Ⅱ	選 択			【 H 】 2		【 H 】 2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	どのような場合に犯罪が成立するか？どのように刑罰が適用されるか？					担当者	今井 康介	
授業概要	【概要】	刑法は、犯罪と刑罰について定めた法律です。刑法の講義は、総論と各論から構成され、総論では「どのような場合に犯罪が成立（不成立）となるか」を、各論では「どのような行為が犯罪か」を学びます。 本講義では、刑法総論の後半部分を扱います。具体的には、責任論、未遂犯と中止犯、共犯、罪数論について検討を加えます。						
	【到達目標】	どのような場合に犯罪が成立するか、自らの力で考え、一定の合理的な理由付けができるようにすることを目標とします。						
履修条件	刑法（総論）Ⅰ（今井担当）を履修済であること。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	刑法概論を履修済みであること。刑法（各論）Ⅰ・Ⅱ履修済みないし同時履修が望ましく、本講義（および刑法（総論）Ⅰ）受講以降ないし同時に、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、情報法Ⅰ、特殊講義（特別刑法Ⅰ・Ⅱ）、特殊講義（刑事政策）を履修することを希望する。							
教科書	内田幸隆＝杉本一敏『刑法総論』（有斐閣、2019年）							
参考書	安田拓人『基礎から考える刑法総論』（有斐閣、2024年）							
評価方法	講義内で行う2回の試験で評価を行う（100％）。							
フィードバック 方法	試験の結果、解答については、個別にフィードバックを行います。							
評価基準	試験の結果、講義内容を十分に理解したと評価出来る者には、「S」または「A」を与えます。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、試験不受験、課題未提出など、評価不能の場合には「F」とします。							

授 業	【 G 】	刑法（総論）Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 2	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	刑法（総論）Ⅱ	選 択		【 H 】 2		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	責任論①: 責任とは何か						
	予習:	一般的に「責任」とはどのような意味を有するか		復習:	責任能力について		
2	責任論②: 原因において自由な行為						
	予習:	飲酒して酩酊状態で犯罪を犯したらどうなる？		復習:	犯罪を実行中に責任能力が減少したら		
3	責任論③: 違法性の意識・意識可能性と期待可能性						
	予習:	違法性の意識あるいは違法性の意識可能性はなぜ必要か？		復習:	責任説とはどのようなものか、厳格責任説と制限責任説の違い		
4	未遂犯①: 実行の着手						
	予習:	未遂とは何か		復習:	隔離犯の実行の着手時期		
5	未遂犯②: 不能犯						
	予習:	砂糖水で人を殺そうとしたら、殺人未遂か？		復習:	具体的危険説と客観的危険説の違い		
6	中止犯						
	予習:	犯罪で途中を中止して、被害者を病院に運ぶとどうなるか？		復習:	中止行為の任意性		
7	共犯論①: 正犯と共犯、間接正犯						
	予習:	子供を利用して犯罪を行ったら？		復習:	単独正犯成立の限界について		
8	共犯論②: 共犯の理論的基礎						
	予習:	共犯の処罰根拠論とは？		復習:	共犯独立性説の問題点		
9	共犯論③: 共同正犯の諸問題						
	予習:	共謀共同正犯とは？		復習:	共同正犯の成立要件について		
10	共犯論④: 教唆犯について						
	予習:	教唆犯は、どの程度処罰されているか？		復習:	間接教唆、再間接教唆		
11	共犯論⑤: 幫助犯について						
	予習:	Winny事件とは？		復習:	中立的行為による幫助		
12	共犯論⑥: 共犯の諸問題、						
	予習:	共犯と身分		復習:	不作為による共犯		
13	罪数論						
	予習:	本来の一罪と科刑上一罪とは		復習:	かすがい外しについて		
14	刑の適用、執行について						
	予習:	法定刑の加重と減輕の方法		復習:	刑の量定について		
15	後期のまとめ						
	予習:	質問事項をまとめてくる		復習:	後期の小テストを踏まえて総復習		
その他	学修に際しては、教科書、六法(最新版)を参照して下さい。毎回、レジュメを配信します。予習・復習には、各120分程度かかるものと思われます。						